

防コミの歩き方

BOSAI
KOBEMIRAI



東川崎防災ジュニアチーム訓練披露会(1月16日)

東川崎
ふれあいのまちづくり協議会
防災部会長 後藤 実

●東川崎防災ジュニアチームとは

東川崎防災ジュニアチームは、阪神・淡路大震災の教訓から、平成8年に地域の中学生を対象とする防災ジュニアチームの第1号として結成されました。平成23年度は22人の中学生が防災ジュニアチーム隊員として活動し、結成以来これまでに延べ300人以上の中学生が隊員に任命され防災について学習しています。

●活動内容

地域、学校、消防団、消防署と連携して、ポンプ操法訓練や救急講習といった定期活動をおこない、さらに消防学校での防災訓練や地域福祉センターを活用した宿泊訓練などさまざまな活動をおこなっています。

●訓練披露会について

平成21年度からは、ジュニアチーム隊員が通う楠中学校(平成23年度に湊^{みなと}翔楠中学校と統合され、現在は湊翔楠中学校)からの発案で、毎年1月の防災学習の授業において、訓練披露会として全校生徒の前で放水訓練をおこなっています。1月16日、3回目となる訓練披露会では、1年間の訓練の集大成として、ポンプ操作訓練、放水訓練や規律訓練などをおこないました。

●披露会での訓練内容

訓練は、中学校の校舎から出火したという想定でおこないました。中学校グラウンドに中央消防署のポンプ車を停車させ、可搬式消

防ポンプとポンプ車を使用して校舎に向けて放水しました。訓練の指揮はもとより、ポンプの操作やホースの延長、放水まですべての作業をジュニアチーム隊員のみでおこない、最後は校舎に見事な放水のアーチがかけられ、訓練を見ていた生徒や教職員からは歓声が上がりました。

●訓練披露を終えて

緊張感が漂う中での訓練でしたが、ジュニアチーム隊員達は非常に元気よく、また落ち着いて行動しており、日頃の訓練成果が発揮できたのではないかと思います。ジュニアチーム隊員たちは本当によくやってくれたと思います。

最後になりましたが、訓練披露会を実施するにあたり多大なご協力をいただいた、中学校関係者や中央消防団第10分団、中央消防署の皆さま、本当にありがとうございました。これからも東川崎防災ジュニアチームへのご指導とご協力をよろしくお願ひいたします。なお、平成23年度のジュニアチーム隊員は3月に無事すべての訓練を終え、修了式を迎えました。

